

① 眼と第2触角

ミジンコを顕微鏡の下で初めて見た人の多くは、「まあ、かわいいり」という声をあげます。この目は複眼です。複眼は、レンズをもつ1つの目(個眼)が集まったもので、す。ちなみにトンボの目も複眼です。ミジンコを正面から見ると、この目が1つだけ頭のまん中に収まっているのがわかります。

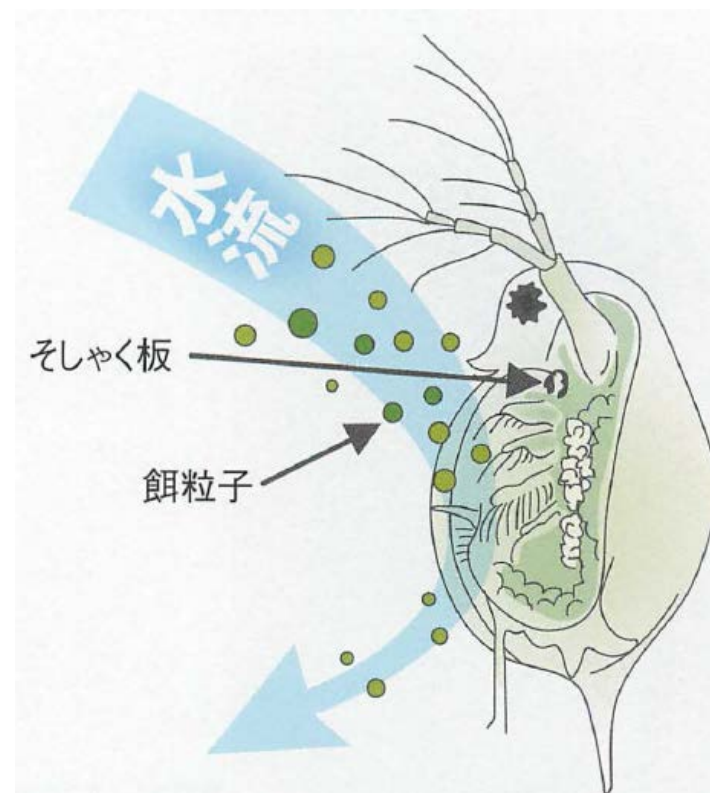


第2触角は泳ぐのに使われます。水中ではこの触角を上下に動かすので、それにつれて体を上下させながら泳いでいます。第1触角は、くちばしのように尖った吻の下についています。

② 心臓と第3・第4胸脚

小さなミジンコも心臓をもっています。そして心臓がとても忙しく拍動している様子に時いたのではないのでしょうか。人間の心臓の拍動は、1分間に約60回ですが、ミジンコの拍動の頻度は1分間に200回を超えます。

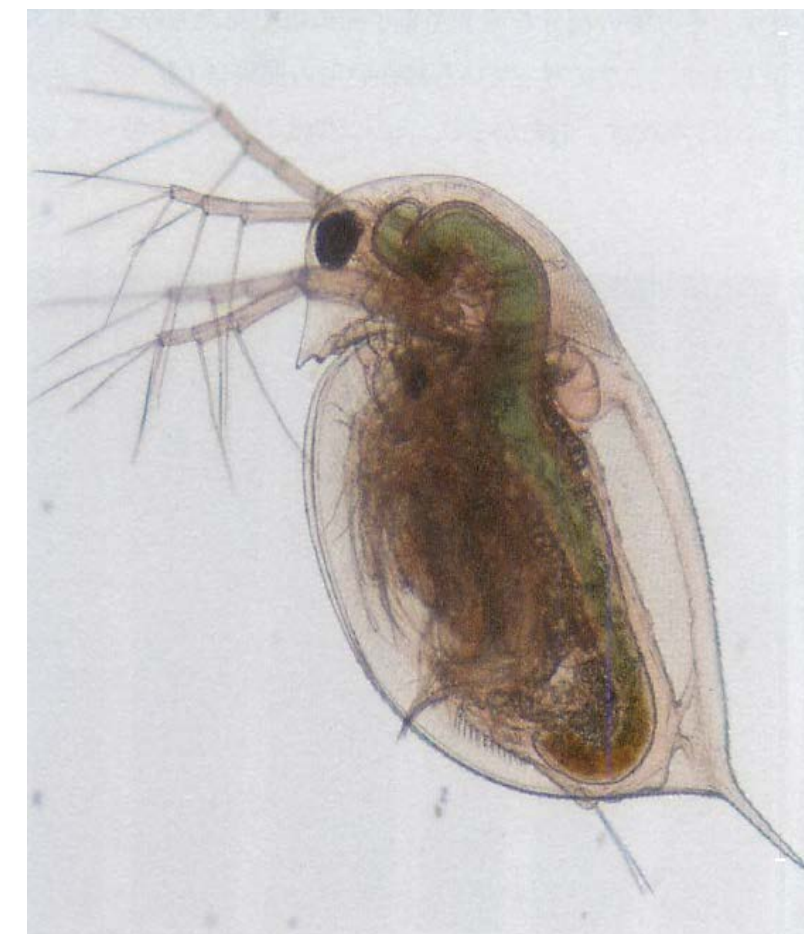
ミジンコ的心臓には血管がついていませんので、単純な構造をしています。



ミジンコは櫛のような毛をもつ第3胸脚と第4胸脚を使って食物プランクトンなどの生物をこし集めています。

③ 腸と尾爪(おづめ)

透明な体の外から腸を容易に見ることができます。腸の中に緑色の植物プランクトンが詰まっている様子が見えます。ところが、その腸の中の植物プランクトンが肛門に近づいていくと、次第に茶色に変色しています。それは、植物プランクトンが消化されて、茶色の糞に変わっているのです。



後腹部に大きな爪(尾爪)があります。この尾爪は、ミジンコの胸脚の掃除に使われます。